

うた ひつじの詩だより

2008. 10. 1
毎月発行 No.91
この度は注目の品と
いっしょにお届けします



「佐々木奈々子、仲間たち、もうひとりの人形展」

2008年11月5日(水)から11日(火)まで
横浜高島屋7階、シーズンスクエア
(中央エスカレーター上がってすぐ)

営業時間 午前10時～午後8時(最終日のみ6時半)



「私たちはウォルドルフ人形を作っています。子ども達の分身ともなり得る、この羊毛を主素材とした人形を大切に思っています。人形を作りながら、子ども達のことや生きていく上での様々なことに思いを馳せ、その中で時々、心と手が勝手に散歩を始めて、道草を食うことがあります。道草の発見にわくわくして、形となって手の中で生まれてきたもうひとりの人形。今回はそんなウォルドルフ人形の仲間たちの作品を見ていただきたいと思います。皆さんとの出会いも楽しみに、お待ちしております。 佐々木奈々子」



お待たせしました！前回の作品展から12年の時を経て、今また佐々木奈々子と仲間たちの力が結集しました。きっとわくわく楽しい出会いと新しい発見があるはず！会場でお会いしましょう！

「ウォルドルフ人形作品展」 ～心を育む人形たち～

- 9月27日(土)～10月29日(水) 可児市立図書館帷子(かたびら)分館 (月曜休館)
可児市東帷子 1011 TEL: 0572 - 27 - 4101 担当: 福井光子
*10月7日に“花かくれんぼ”作りのワークショップを行います。
- 10月11日(土)～13日(月) 岡山喜久屋書店 岡山市幸町7-6 岡山ビブレA館3階
15:00まで TEL: 086 - 246 - 2227 (くんぺる) 担当: 山中典子・結城厚子
- 10月17日(金)～19日(日) ギャラリー「結」 鎌倉市山ノ内 1361
10:00～16:00 TEL: 045 - 621 - 6386 担当: 今野直美 他 14名
- 10月18日(土)～19日(日) ギャラリー&ダイニング ネフ 新潟市青山海岸
11:30～15:00 TEL: 090 - 5585 - 8883 担当: 志村智美
- 11月2日(日) 奈良キリスト教会礼拝堂内 奈良市登大路町 45
12:00～15:00 TEL: 0742 - 47 - 6540 担当: 菊澤ゆみ
- 11月7日(金)～9日(日) どうぶつ島 北九州市小倉南区高津尾 65-1
11:00～16:00 TEL: 093 - 963 - 8033 担当: 岩淵志温
- 11月14日(金)～16日(日) 読谷村文化センター第3講座室 読谷村字座喜味 2901
TEL: 098 - 956 - 2841 担当: 比嘉ひろみ
- 11月28日(金)～30日(日)と12月6日(土)～7日(日) “山のアトリエ”花折教室
兵庫県三木市 TEL: 0794 - 83 - 5930 担当: 足立美和子

スウェーデンひつじの詩舎からのお知らせ

- ★ 指人形「虹の子」のキットは、2体分2,000円のところ、12月末まで3体分2,000円でお届けしています。どうぞこの機会にお求めください。
- ★ 10月19日(日) シュタイナー学園(神奈川県藤野)のバザーにスウェーデンひつじの詩舎も出店いたします。お近くの方、どうぞおかけください。

ぱたぼん通信

エレン・ケイの水辺の館——ストランド荘を訪ねて

旅の記憶から・・・part 3

スウェーデンの南部に位置する南北に長い湖、ヴェッテルン湖。地図で見ると小さく見えるが実際は琵琶湖の3倍もあり、岸辺に立つとまるで海辺を思わせる。ストランド荘はそのほとりに佇む様に建ち、建物の姿は凛として美しく、館の主人の人と成りを彷彿とさせる。新しい教育のあり方と女性の生き方を提唱し、現在のスウェーデン社会に多大な影響を与えた思想家、エレン・ケイ(1849～1926)は晩年を此処で過ごした。『心を育む人形たち』(佐々木奈々子著/文化出版局)の冒頭でも紹介されているように、『ペレ』のバスコフ、『ニルス』のラーゲルレーヴ、『ピッピ』のリンドグレーンらと並んで高く評価されている女性である。夏至祭の季節で休館中にも拘らず、この館の運営に関わる女性のはからいで見学する機会に恵まれた。



なだらかなカーブを描く部屋の入り口や梁、暖炉や家具を配置することにより角を排した室内、部屋ごとに彩られて明るく柔らかな印象を与える壁……。彼女自身が手掛けたとされるこの館は、後のスウェーデンの室内装飾の在り方にも影響を及ぼしたということだ。また、彼女の寝室に一步足を踏み入れた時、まず目に付いたのが一枚のポートレート、ゲーテの肖像だった。彼女はゲーテを尊敬し、特にその色彩論から多くを学んでいたそう。ケイとシュタイナーとが、生きた時代、言語や国の違いを超えて多くの共通点を持っていると言われる理由のひとつが此処にあると思った。興味のある方は、『児童の世紀』(エレン・ケイ著・富山房百科文庫)を一読することをお勧めしたい。出版から百年以上の時を経た今も、心に響く内容だと思う。『スウェーデン水辺の館への旅』(荒井冽著・富山房インターナショナル)も合わせて読めば、一層理解を深めることができる。

3回にわたって旅行記を書かせていただいた。心躍るほどに素敵な体験も、いざ文章にすると舌足らずで言い得ない部分が多くあったと思う。読んでくださった皆さん、ありがとうございました。 今野直美(横浜市中区在住)

通信講座「ペレの学校」についてお知らせ

好評をいただいています「ペレの学校」もおかげ様で5期を迎えることとなりました。今まで入校のチャンスを逃していた方、また継続ご希望の方、この機会をお見逃しなく！「ペレの学校」第5期(10月9日～3月10日)は、おもに羊毛を使った手仕事の通信講座として開講します。

申し込み期間 11月20日(木)～12月10日(水)

ペレの学校教務室まで案内希望と、FAX < 045-811-6708 > または [メール pelle_skolan@r6.dion.ne.jp](mailto:pelle_skolan@r6.dion.ne.jp) でご連絡ください(すでに継続を希望されている方には、別途ご案内をお送りします)。佐々木奈々子の作品展会場でもご案内を用意しています。

さらに！！11月5日より通信講座から独立した羊毛の手仕事入門セット『ペレのひつじ』を発売致します。価格は10月中旬に決定します。どうぞお楽しみに。

編集担当: 佐藤治子
スウェーデンひつじの詩舎のホームページ
<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

♥ スウェーデンひつじの詩舎 ♥
スペース ペレのあたらしいふく
〒244-0001 横浜市戸塚区磯が丘 15-2
TEL/FAX 045-881-6000/6035
佐々木のアトリエ TEL/FAX 045-811-6708
相談窓口・金 担当: 寺田裕子 045-881-7035